

地震に備えて情報伝達訓練を実施 (北陸地方整備局総合防災訓練)



立山砂防事務所は、北陸地方整備局総合防災訓練の一環として、地震発生時にどのような対応や行動が必要となるか、被害箇所を想定し情報伝達訓練を実施した。また、訓練では、災害支援の協定を結んでいる(社)斜面防災対策技術協会富山支部や立山・神通砂防スペシャルエンジニアへの支援要請を実施するとともに、富山県の「県民一斉防災訓練～シェイクアウトとやま～」として、シェイクアウト訓練にも参加した。

- 実施日時
平成26年9月3日(水)9時00分～12時00分
- 訓練の地震想定
 - ・地震の震源地 新潟県北部沖(マグニチュード7.6)
 - ・立山砂防事務所管内(富山市・立山町)震度4
- 訓練の被害想定
有峰材料運搬道路で落石



災害対策室の訓練状況



防災情報共有化システムの入力状況



シェイクアウト訓練の実施状況
(9時の地震発生により、全職員が頭を守る行動をとる)

「シェイクアウトとやま」とは。

県民の防災に対する意識を高めるため、防災週間(8月30日～9月5日)において、地震を想定して県民が自分の身を守るための安全行動を実施するものです。

シェイクアウト訓練 身を守る3つの動作!



シェイクアウト訓練とは?
2008年にアメリカ・カリフォルニア州で始まり、地震を想定して参加者が一斉に身を守るための安全行動を実施するという新しい形の訓練です。
日本では「日本シェイクアウト提唱会議」が訓練の普及、啓発に取り組んでおり、自治体を中心に全国的に訓練参加者が広がっています。